

催し物案内2024年度秋・冬号

2024年11月～2025年3月

多摩の博物館さんぽ



東京都三多摩公立博物館協議会では、公式サイト「多摩の博物館に行こう」(<https://tamahaku.jp>) やエックス (旧ツイッター) を通じ、さまざまな情報を公開しています。「多摩の博物館さんぽ」とあわせて、ご活用ください。多摩地域の博物館をめぐってみませんか！



(HP)

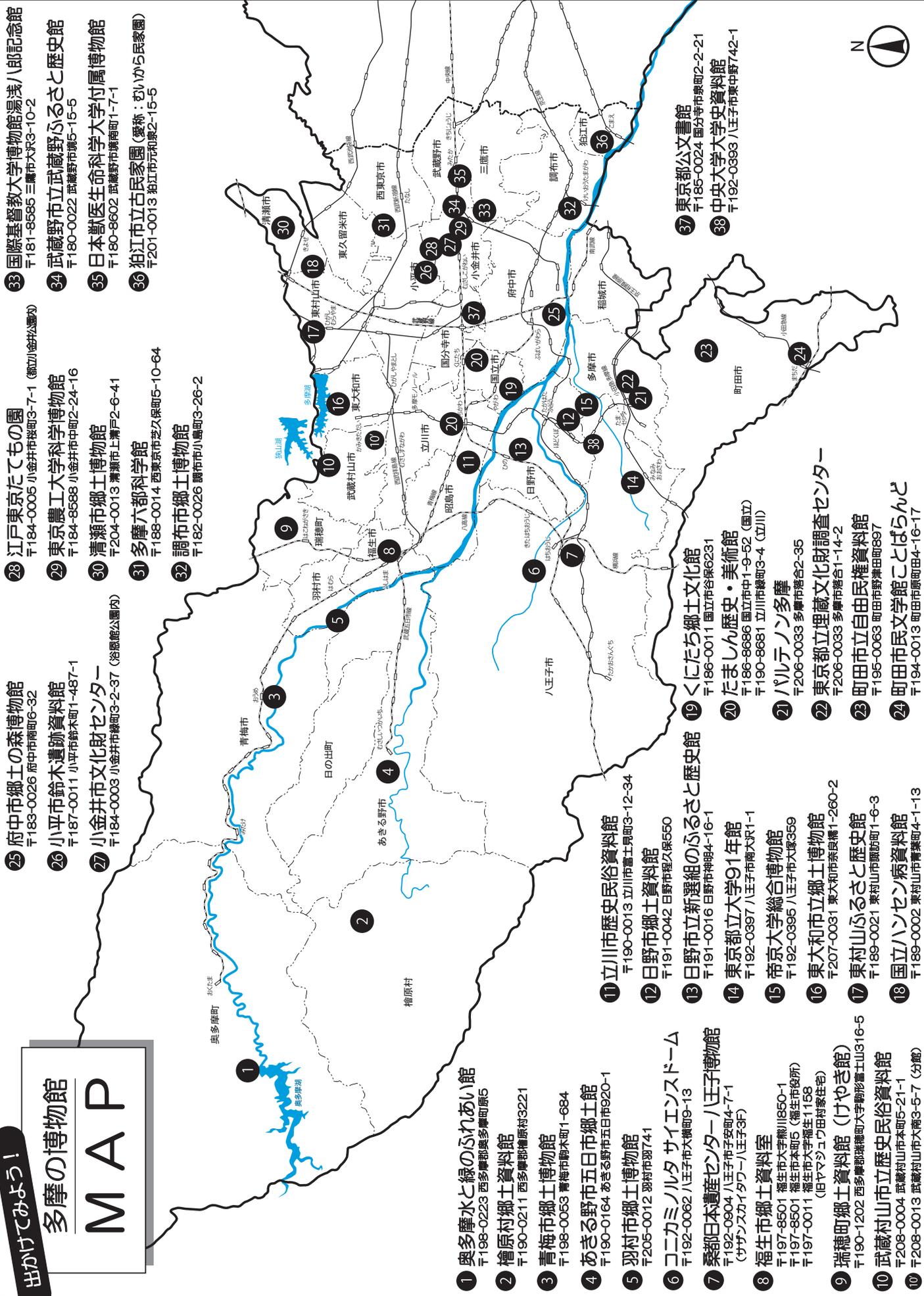


(X)

※諸事情により催し物の中止や延期など急な変更を行う場合があります。事前にご利用予定の施設にお問い合わせください。

出かけてみよう!

多摩の博物館 MAP



- ① 奥多摩水と緑のふれあい館
〒198-0223 西多摩郡奥多摩町原5
- ② 檜原村郷土資料館
〒190-0211 西多摩郡檜原村322-1
- ③ 青梅市郷土博物館
〒198-0063 青梅市御木町1-684
- ④ あきる野市五日市郷土館
〒190-0164 あきる野市五日市920-1
- ⑤ 羽村市郷土博物館
〒205-0012 羽村市現741
- ⑥ コニカミノルタ サイエンスドーム
〒192-0062 八王子市大機町9-13
- ⑦ 桑都日本遺産センター/八王子博物館
〒192-0904 八王子市安町4-7-1
(ササノスカイタワー/八王子3F)
- ⑧ 福生市郷土資料室
〒197-8501 福生市大字糠川1850-1
〒197-8501 福生市本町5 (福生市役所)
〒197-0011 福生市大字福生1158
(旧ヤマシユウ村家住宅)
- ⑨ 瑞穂町郷土資料館 (げやき館)
〒190-1202 西多摩郡瑞穂町大字駒形富士山316-5
- ⑩ 武蔵村山市立歴史民俗資料館
〒208-0004 武蔵村山市本町5-21-1
〒208-0013 武蔵村山市大南3-5-7 (分館)
- ⑪ 立川市歴史民俗資料館
〒190-0013 立川市富士見町3-12-34
- ⑫ 日野市郷土資料館
〒191-0042 日野市程久保550
- ⑬ 日野市立新選組のふるさと歴史館
〒191-0016 日野市神町4-16-1
- ⑭ 東京都立大学91年館
〒192-0397 八王子市南大沢1-1
- ⑮ 帝京大学総合博物館
〒192-0395 八王子市大塚359
- ⑯ 東大和市立郷土博物館
〒207-0031 東大和市赤長橋1-260-2
- ⑰ 東村山ふるさと歴史館
〒189-0021 東村山市諏訪町1-6-3
- ⑱ 国立ハンセン病資料館
〒189-0002 東村山市青葉町4-1-13
- ⑲ くたち郷土文化館
〒186-0011 国立市谷保6231
- ⑳ たましん歴史・美術館
〒186-8686 国立市中1-9-52 (国立)
〒190-8681 立川市緑町3-4 (立川)
- ㉑ パルテノン多摩
〒206-0033 多摩市渡台2-35
- ㉒ 東京都立埋蔵文化財調査センター
〒206-0033 多摩市渡台1-14-2
- ㉓ 町田市立自由民権資料館
〒195-0063 町田市野津田897
- ㉔ 町田市民文学館ことばらんど
〒194-0013 町田市原町田4-16-17
- ㉕ 府中市郷土の森博物館
〒183-0026 府中市南町6-32
- ㉖ 小平市鈴木遺跡資料館
〒187-0011 小平市鈴木町1-487-1
- ㉗ 小金井市文化財センター
〒184-0003 小金井市緑町3-2-37 (湯島館公園内)
- ㉘ 江戸東京たてももの園
〒184-0005 小金井市緑町3-7-1 (緑川(金井公園内))
- ㉙ 東京農工大学科学博物館
〒184-8588 小金井市中町2-24-16
- ㉚ 清瀬市郷土博物館
〒204-0013 清瀬市上瀬戸2-6-41
- ㉛ 多摩六都科学館
〒188-0014 西東京市芝久保町5-10-64
- ㉜ 調布市郷土博物館
〒182-0026 調布市小島町3-26-2
- ㉝ 国際基督教大学博物館湯浅/八郎記念館
〒181-8585 三鷹市大沢3-10-2
- ㉞ 武蔵野市立武蔵野ふるさと歴史館
〒180-0022 武蔵野市蹟5-15-5
- ㉟ 日本獣医生命科学大学付属博物館
〒180-8602 武蔵野市蹟南町1-7-1
- ㊱ 柏江市立古民家園 (愛称:むいから民家園)
〒201-0013 柏江市元和東2-15-5

この地図は、三多摩公立博物館協議会加盟館のみを掲載したものです。

1 奥多摩水と緑のふれあい館 水源林の役割と自然、奥多摩の歴史・文化を紹介。

開館時間	9:30～17:00	休館日	水曜日（祝日の場合は翌日）、 12.28～1.4	入館料	無料	☎	0428-86-2731
------	------------	-----	-----------------------------	-----	----	---	--------------

奥多摩の自然とダムとの仕組みや水の大切さなどを紹介し、東京都の水源地である奥多摩町と水道を利用する都市住民とのふれあいの場として、奥多摩町の歴史・文化・郷土芸能・地場産業などの展示や映像などで分かりやすく紹介している。

- ヘブンアーティスト（11.3）
- 秋の奥多摩ミニコンサート（11.23）
- オリジナルグッズ作り体験（12.1）
- 日原白著作作り体験（令和7年1月中旬）
- 川野の車人形の上演（令和7年3月中旬）

【URL】<http://www.okutama.gr.jp/>

2 檜原村郷土資料館 数馬の民家や、檜原の歴史・民俗・自然を展示。

開館時間	4月～11月9:30～17:00 12月～3月10:00～16:00	休館日	火曜日（祝日の場合は翌日）、 年末年始	入館料	無料	☎	042-598-0880
------	---------------------------------------	-----	------------------------	-----	----	---	--------------

●常設展「自然と観光」「歴史と民俗」

鑑賞室では「檜原村歳時記」・「重要文化財小林家住宅修復記録映像」・「檜原村の郷土芸能」がご覧いただけます。

●特別展「檜原村野鳥写真展」（2025.2.6～3.6）

檜原村に生息する野鳥の写真約30点を展示します。

【URL】<http://www.vill.hinohara.tokyo.jp/0000000019.html>

3 青梅市郷土博物館 青梅の自然や歴史、民俗、産業に関する資料を展示。

開館時間	9:00～17:00	休館日	月曜日（祝日の場合は翌平日）、 12.29～1.3	入館料	無料	☎	0428-23-6859
------	------------	-----	------------------------------	-----	----	---	--------------

●開館50周年記念展「開館50年のあゆみ」（12.21～3.30）

昭和49年に開館するまでの経緯や開館以降の博物館活動等を振り返るとともに、収蔵品の中で青梅市の歴史を語る上で重要となる資料や優品、また、発刊図書やポスター、チラシなどによって50年の軌跡をたどります。

【URL】<https://www.city.ome.tokyo.jp/site/provincial-history-museum/>

4 あきる野市五日市郷土館

五日市の歴史・民俗・自然について紹介。五日市憲法草案関係の資料を展示。

開館時間	9:30～16:30	休館日	月曜日（祝日の場合は翌日）、 年末年始（12.27～1.4）	入館料	無料	☎	042-596-4069
------	------------	-----	-----------------------------------	-----	----	---	--------------

●常設展示

五日市郷土館では、歴史・生活・民俗芸能・自然・化石などの展示のほか、五日市憲法草案や日本で初めてナイチンゲール記章を受賞した萩原タケの功績を紹介しています。

●東京文化財ウィーク公開事業 特別公開「大悲願寺文書～観智国師書状～」（10.26～11.4）

●ミニ企画展「郷土の古文書その39 伊勢参宮道中日記（三）」（11月～令和7年3月）

●年中行事（五日市郷土館及び旧市倉家住宅）

七五三展示（11月）、正月飾り（12月～令和7年1月）、まゆ玉飾り（令和7年1月）、ひな人形（令和7年2月～3月）

【URL】<http://www.city.akiruno.tokyo.jp/0000001285.html>

5 羽村市郷土博物館 羽村の歴史と文化。玉川上水と中里介山に関する資料を展示。

開館時間	9:00～17:00（旧下田家住宅は9:00～16:00）	休館日	月曜日（祝日の場合は開館） 12.29～1.3	入館料	無料	☎	042-558-2561
------	-------------------------------	-----	----------------------------	-----	----	---	--------------

●常設展

羽村の自然・風土・歴史・文化に関して、「多摩川とともに」「玉川上水を守る」「農村から都市へ」「中里介山の世界」の4つのテーマで紹介します。

●季節かざり「お正月かざり」（1.4～1.9）

館内ホールに、実物の大凧・連凧や羽子板等のお正月かざりを展示します。

●企画展「むかしの暮らし」（1.7～1.26）

昭和時代に使われていた生活用具等を展示します。昭和初期から現在の暮らしの移り変わりをご覧ください。

●季節かざり「まゆ玉かざり」（1.10～1.19）

館内ホール及び旧下田家住宅に、小正月行事の「まゆ玉かざり」の実物を展示します。

●企画展「ひな人形展」（2.8～3.4）

段かざり、内裏びな等のひな人形を展示します。旧下田家住宅では、ひな人形とお供えを再現します。

【URL】<http://www.city.hamura.tokyo.jp/0000005474.html>

6	ユニカミノルタ サイエンスドーム（八王子市こども科学館）					
	プラネタリウムと基礎物理や宇宙を中心とした参加体験型の展示。					
開館時間	10:00～17:00（ただし火～金曜9:00～12:00は事前予約団体専用）	休館日	月曜日、祝日の翌日、年末年始など（春・夏・冬休み期間は無休）	入館料	大人200円、4歳～中学生100円（プラネタリウム料金別、セット割引有り）	☎ 042-624-3311
<p>●プラネタリウムでは「ウォーキング with ダイナソー 太古の地球へ」（～1.7）、「それいけ！アンパンマン～星の色と空の色～」、「プラネタリウム ドラえもん 宇宙の模型」等を投影。</p> <p>「生解説プラネタリウム 星空さんぽ」季節の星座や天文現象を解説。（第二日曜）</p> <p>「全編生解説プラネタリウム」10～12月のテーマは「外惑星」。1月から新テーマ（第四日曜）</p> <p>「トワイライトプラネタリウム」月1回土曜日の午後6時に投影「地球ミュージアム」（11.16、12.14）。1月から新番組「星空観望会」（11.9）「月・土星」（12.8）「土星食」</p> <p>「星空コンサート」（1.18）（予約制：HPから申込）</p> <p>●土日祝、冬休み、春休みには親子で楽しめる工作教室などを開催。（当日先着順または予約制：HPから申込）</p> <p>【URL】http://www.city.hachioji.tokyo.jp/shisetsu/003/p011705.html</p>						

7	桑都日本遺産センター 八王子博物館					
	日本遺産の魅力をはじめとした八王子の歴史と文化を紹介。車人形や織物の体験も。					
開館時間	10:00～19:00	休館日	年末年始、その他館内整理日	入館料	無料	☎ 042-622-8939
<p>桑都日本遺産センター 八王子博物館（愛称・はちはく）は、都内で唯一の「日本遺産」に認定されたストーリー、「霊気満山 高尾山～人々の祈りが紡ぐ桑都物語～」を紹介しています。桑都と呼ばれる八王子の魅力にあふれる、市内各地の文化財へあなたを誘います。</p> <p>●姉妹都市盟約50周年記念事業 企画展「八王子の姉妹都市～千人同心がつかない三都物語～」(11.16～1.13)</p> <p>八王子市と日光市・苫小牧市の姉妹都市盟約50周年を記念し、三市を結ぶ縁となった八王子千人同心の歴史的な事跡とあわせて三市の友好の歩みを紹介します。</p> <p>●企画展「未来への贈り物—令和5年度寄贈資料展—」(1.18～4.21)</p> <p>市民のみなさんから寄贈される資料は、八王子の歴史文化を未来へつなげるための宝物です。令和5年度に寄贈された八王子空襲関係資料や八王子銘仙の着物などを展示・公開します。</p> <p>●紙芝居の上演会</p> <p>ガイドボランティアが製作した紙芝居を上演します。「八王子城主北条氏照」(11.24)、「松姫ものがたり」(12.22)、「鎌水商人と絹の道」(1.26)、「八王子空襲」(2.23)、「八王子の大久保長安」(3.30)</p> <p>●「みんなで楽しむお手玉遊び」</p> <p>八王子お手玉の会のみなさんとお手玉遊びをします。八王子に伝わるお手玉歌の実演もあります。（毎月最終日曜日 11.24、12.22、1.26、2.23、3.30）</p> <p>【URL】https://www.city.hachioji.tokyo.jp/shisetsu/003/hachihaku.html</p>						

8	福生市郷土資料室					
	福生を中心とした地域の多摩の歴史・民俗・自然を紹介します。令和6年1月24日、より福生の魅力を感じられる展示内容にリニューアルしました。					
開館時間	10:00～17:00（田村家住宅は16:00まで）	休館日	月曜日（月曜日が祝日の場合は翌平日）、年末年始、展示替え期間	入館料	無料	☎ 042-530-1120
<p>●郷土資料室企画展示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青梅線開通130周年記念企画展示「青梅線と福生の砂利輸送」(9.28～11.24) 青梅線沿線自治体での連携事業として、福生市内でかつて見られた多摩川から砂利を運んだトロッコや鉄道などと青梅線の関係を伝える展示を行います。 ・「ミキノクチ展」(11.30～1.19) 福生市内で現在も制作されているお正月飾りの「ミキノクチ」を紹介する展示を行います。 ・「まちのうつりかわりとくらしのうつりかわり展（仮）」(1.25～4.13) 昭和100年を記念し、この間に見られたまちや暮らしの様子のおうつりかわりを紹介する展示を行います。 <p>●市役所出張展示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・八高線全線開通90周年記念市役所出張展示「福生と八高線」(8.26～11.22) 八高線の全線開通から90周年を記念し、福生と八高線の関係を伝える出張展示を行います。 ・「ミキノクチ展」(11.25～2.8) 郷土資料室企画展示に合わせ、ミキノクチを紹介する出張展示を行います。 ・「まちのうつりかわりとくらしのうつりかわり展（仮）」(2.10～4.19) <p>郷土資料室企画展示に合わせ、まちや暮らしの様子のおうつりかわりを紹介する展示を行います。</p> <p>●旧ヤマジウ田村家住宅主屋季節展示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「くらしのうつりかわりと暖をとる道具展」(1.18～3.20) 小学生の学習単元に合わせ、道具の変遷を伝える道具と、冬の暮らしを伝える道具の展示を行います。 ・「ひな飾り」(2.8～3.20) 桃の節句に合わせ、旧ヤマジウ田村家住宅に受け継がれてきたひな飾りを期間限定で展示します。 <p>※このほか、旧ヤマジウ田村家住宅ギャラリーでは、窪田成司氏による記憶画の展示を季節ごとに入れ替えながら行っています。</p> <p>【URL】https://www.museum.fussa.tokyo.jp</p>						

9	瑞穂町郷土資料館（けやき館）						
	瑞穂町の歴史・自然・民俗資料を展示。囲炉裏端のある民家を再現した「瑞穂の民家」もあります。						
開館時間	9:00～17:00	休館日	第3月曜日（祝日の場合は開館し、翌日休館）、年末年始（12.29～1.3）、臨時休館日	入館料	無料（企画展は有料になることがあります）	☎	042-568-0634
<ul style="list-style-type: none"> ●「みずほ染め織り作品展」(10.1～10.31) 瑞穂町の伝統的な絹織物である「村山大島紬」を題材に、機織・染色を体験学習した「みずほはたおり探検隊」の参加者が制作した作品を展示します。 ●企画展「大海道細瀬家展」(10.19～1.13) 耕心館・けやき館の敷地は、旧富士山村の有力な豪農、大海道細瀬家のものでした。展示では細瀬家旧蔵の資料から、細瀬家や元狭山地区の移り変わりを紹介します。 ●10周年記念特別展示「箱根神社所蔵 箱根本地仏懸仏」(11.2～12.1) 瑞穂町で発見されたと伝えられる鎌倉時代制作の箱根神社所蔵箱根本地仏懸仏を特別公開します。 ●企画展「石田和雄－薬師三尊と六観音像－展」(11.2～12.1) 丹精を尽くし彫り上げられた石田和雄氏の仏像彫刻。薬師三尊と今年完成した六観音像をご覧ください。 ●企画展「ひなまつり展2025」(2.8～3.5) 瑞穂町や周辺に伝わるひな人形やひなまつりにまつわる習慣などを紹介します。【URL】https://mizuhokyodo.jp 							

10	武蔵村山市立歴史民俗資料館 分館						
	武蔵村山の歴史・民俗・自然を狭山丘陵と武蔵野台地の開発などを通して紹介。武蔵村山の戦争資料をもとに戦時中の市域の人々の生活の様子などの一端を紹介。						
開館時間	9:00～17:00	休館日	本館：第1月曜日、第3水曜日（祝日の場合は翌日）、12.28～1.3 分館：月・火曜日（祝日の場合は翌日）、12.28～1.3	入館料	無料	☎	本館 042-560-6620 分館 042-566-3977
<ul style="list-style-type: none"> ●常設展：丘陵と台地が育む生命のあゆみ～人と自然との共生～ ●企画展「戦争（仮）」(12.7～3.30) ●年中行事展「正月飾り」(12.14～2025.1.19)、「桃の節句」(2.1～3.9) ●文化財見学会「中世の武蔵村山」(11.16) ●歴史講座(2025.2.15) ●自然観察会(3月開催予定) 【分館】●常設展：戦時中（アジア・太平洋戦争）の武蔵村山 【URL】http://www.city.musashimurayama.lg.jp/kankou/spots/rekishiminzoku/index.html 							

11	立川市歴史民俗資料館						
	立川の歴史や文化、自然風土を展示紹介。市内幸町には茅葺き屋根の川越道緑地古民家園もあります。						
開館時間	9:00～16:30	休館日	月曜日（月曜祝日の場合は翌日）、12.29～1.3	入館料	無料	☎	042-525-0860
<ul style="list-style-type: none"> ●常設展示 原始から近現代の立川の歴史、自然、くらしと道具に関する資料を紹介しています。 ●東京文化財ウィーク2024事業 東京都指定有形文化財「銅鉦鼓」特別公開(10.22～11.24) 中世の戦・立河原合戦があったことを示す「銅鉦鼓」（都指定有形文化財、個人蔵）を特別公開します。 ●企画展「立川の文化財—新指定された普濟寺の宝物—」(10.22～12.1) 新指定された普濟寺所有の文化財である「普濟寺版大方等大集経」、「普濟寺境内并堂塔図」等を紹介합니다。 ●ミニ企画展「[青梅線開通130周年] 青梅線の始発 立川駅」(10.22～12.1) 青梅線の始発となる立川駅。青梅電気鉄道や立川駅に関する歴史資料など、当館所蔵資料を紹介します。 ●写真展「なつかしの立川—古写真からみる街の風景—（仮）」(12.17～2.16) 年明けに始まる企画展「むかしの暮らしの道具（仮）」に先行して、立川の昔なつかしい風景を写真で紹介します。 ●企画展「むかしの暮らしの道具（仮）」(1.15～2.16) 人々がむかし使用していた暮らしの道具を展示します。 ●ミニ企画展「桃の節句」(2.4～3.2) 市民から寄贈されたひな人形を、資料館と川越道緑地古民家園で展示します。 【URL】https://www.city.tachikawa.lg.jp/kanko/bunka/1004244/1004849/index.html 							

12	日野市郷土資料館						
	日野の歴史・民俗・自然と幅広い分野の調査研究事業を市民とともに展開中。						
開館時間	9:00～17:00	休館日	月曜日（祝日の場合は翌日）、12.29～1.3	入館料	無料	☎	042-592-0981
<ul style="list-style-type: none"> ●秋季企画展「ここまでわかった！川辺堀之内のうんとむかし～吹上遺跡・神明上遺跡・川辺堀之内遺跡・No.16遺跡の調査から～」(9.7～12.8) 本展示では近年、川辺堀之内地区で発見された縄文時代から中世までの発掘調査成果をご紹介します。連続と続く川辺堀之内の豊かな歴史を、ぜひお楽しみください。 ●冬季企画展「ひのつ子お買い物展～モノの値段・モノの流れ～」(12.14～4.6) 「買い物」を経て得た商品や記録は、当時の様子が分かる重要な資料です。本展示では、主に明治期から高度経済成長期を対象に、モノの流通を橋渡しする機能である「買い物」を通して、当時の日野市域の暮らしをモノや文書から紹介します。 ※詳細は館HPをご確認下さい。 【URL】https://www.city.hino.lg.jp/museum/index.html 【X(旧Twitter)】@hino_museum 							

13

日野市立新選組のふるさと歴史館

土方歳三・井上源三郎のふるさと日野で新選組や幕末維新、甲州道中などに関する展示を行っています。

開館時間	9:30～17:00 (最終入館は16:30)	休館日	月曜日(祝日の場合は翌平日)、 12.29～1.3	入館料	大人200円、小・中学 生50円	☎	042-583-5100
------	----------------------------	-----	------------------------------	-----	---------------------	---	--------------

●特別展「甲州道中日野宿」(10.26～1.26)

甲州道中の宿場町であった日野宿をテーマに、街道や宿場の役割や日野宿の特徴などを、“人の動き”という視点から再検証します。併せて日野宿本陣の機能や建築、現状を、建造物調査の結果を踏まえて紹介します。

●第18回新選組書展(3月～4月)

毎年恒例の新選組ゆかりの文字を書く書道展です。課題は新選組の象徴である「誠」のほか、隊士名や新選組関係者の手紙の一節などです。入選作品のほか、全応募作品を展示します。※一部入替を行う場合があります。

※詳細は館HPをご確認ください。【URL】<https://www.city.hino.lg.jp/shinsenr/index.html> 【X(旧Twitter)】@shinsenr

14

東京都立大学91年館 大学所蔵の学術標本・資料、最新の研究成果を展示。

開館時間	11:00～17:00	休館日	土～月曜日、祝日、夏季・冬季・ 春季休業期間ほか(臨時休館あり)	入館料	無料	☎	042-677-1111 内線2041
------	-------------	-----	-------------------------------------	-----	----	---	------------------------

特別ミニ展示を11月20日まで開催中

①「愛する二人・別れる二人ー江戸時代の結婚と離婚ー」「村送り一札」・「三行半」などに代表される江戸時代の結婚と離婚の作法について、現代のものどどこがどのように異なっていたのか、レプリカではない本物の古文書を利用して、丁寧に紹介します。

②「アリヅカムシ。私の好きなムシです。」アリヅカムシは主に森林落葉層に生息し、いくつかはアリと一緒に暮らしています。アリヅカムシの知られざる多様性をご覧ください。【URL】<https://kyomu.jim.tmu.ac.jp/kyousyoku.html>

15

帝京大学総合博物館 帝京大学が所蔵する貴重な資料や研究成果を紹介。

開館時間	9:00～17:00 (入館は16:30まで)	休館日	日曜日、祝日、創立記念日、臨時 休館日	入館料	無料	☎	042-678-3675
------	----------------------------	-----	------------------------	-----	----	---	--------------

●ゼミ展「見て座れるSDGs?ー帝京大学総合博物館における「SDGsカフェ」展の開催ー」(11.14～2025.1.04) 主催:永井リサ(経済学部経済学科講師)ゼミ 概要:銀座スエヒロ・LEOC・アサヒグループジャパン・電通デジタル社と産学連携で行っているSDGs活動の1つであるコンセプトカフェを紹介する展示です。

●ゼミ展「第4回 大櫃ゼミ 卒業研究・学習発表展覧会」(2025.2.5～3.6) 主催:「卒業研究I・II」「教育学演習I・II」<大櫃重剛(教育学部初等教育学科)ゼミ> 概要:本学教育学部において、図画工作科教育・美術科教育学を研究する学生たちの、題材開発や授業づくりを見据えた造形素材研究の成果である作品を紹介します。

※詳細・その他展示は館HP・SNSでご確認ください。

【URL】<http://teikyo.jp/museum/>

16

東大和市立郷土博物館

東大和の歴史・民俗、狭山丘陵の自然を紹介。

プラネタリウムクリエイター大平貴之氏の投影機メガスターが評判。

開館時間	9:00～17:00	休館日	月曜日(祝日の場合は翌日) 祝日の翌日	入館料	無料 (プラネタリウムは有料)	☎	042-567-4800
------	------------	-----	------------------------	-----	--------------------	---	--------------

●プラネタリウム秋番組(9.21～12.1)/プラネタリウム冬番組(12.7～3.9)/プラネタリウム春番組(3.15～)

●企画展示「吉岡堅二展」(9.21～11.4)/春の特別展示(令和7年3月～) ●その他各種講座を随時開催

●旧日立航空機株式会社変電所一般公開(毎週水・日曜日)10時30分～16時

【URL】<http://www.city.higashiyamato.lg.jp/index.cfm/35,0,366,html>

17

東村山ふるさと歴史館

「みち」をテーマに、東村山の歴史を紹介する。

開館時間	9:30～17:00 (入館は16:30まで) ※八国山たいけんの里も同	休館日	月・火曜日(祝日の場合は開館し、 その翌日以降の平日が休館) ※八国山たいけんの里も同	入館料	無料 ※八国山たいけんの里も同	☎	042-396-3800 042-390-2161
------	--	-----	---	-----	--------------------	---	------------------------------

●年末年始の休館(12.29～1.4) ※ただし、八国山たいけんの里は1.4から開館します。

●企画展「古文書からみる東村山の旅事情」(10.12～12.8) 江戸時代の旅の記録である「道中日記」を中心に、東村山における旅関係の文書史料をご紹介します。展示解説(①10.27、②11.17)申込不要。

●小学校社会科見学対応展示「むかしの暮らしと道具」(1.10～3.7) 小学3年生の社会科見学に対応して、「電気・ガス・水道のないころの暮らし」「高度経済成長期のころの暮らし」に関する道具類などを展示します。会期中の午前中は、小学生が団体で見学している旨、ご了承ください。

●東村山考古学講演会「テーマ未定」第1回(1月)、第2回・第3回(3月)予定。詳細はウェブサイトでご確認ください。

◆東村山ふるさと歴史館【URL】<https://www.city.higashimurayama.tokyo.jp/tanoshimi/rekishi/furusato/>

◆八国山たいけんの里 東村山市野口町3-48-1【URL】<https://www.city.higashimurayama.tokyo.jp/tanoshimi/rekishi/hachikokuyama/>

18	国立ハンセン病資料館					
	ハンセン病問題に関する理解促進と偏見・差別・排除の解消を目指す。					
開館時間	9:30～16:30 (入館は16:00まで)	休館日	月曜および「国民の祝日」の翌日、 年末年始、館内整理日	入館料	無料	☎ 042-396-2909
<ul style="list-style-type: none"> ● MUSEUM TALK 2024「特集 ハンセン病療養所の女性たち——冊の本をめぐる」 <ul style="list-style-type: none"> 【11/23(土)】田代学(当館事業部事業課、主任学芸員)「闘った女性の本と証言—上野正子『人間回復の瞬間』」 【12/14(土)】長谷川秋菜(当館事業部図書室、司書)「内側から広がる言葉—塔和子『記憶の川で』」 【1/18(土)】吉國元(当館事業部事業課、学芸員)「再起する女性像—藤本とし『地面の底がぬけたんです』」 ※各回とも会場は当館映像ホール、14時から15時まで(13時30分開場)、定員130名(公式Webサイトから先着申込順) ● 第10回多磨全生園人権の森絵画展【会期】11/16(土)～12/8(日)【会場】当館1Fギャラリー 東京都東村山市内の小中学生が多磨全生園を題材として描いた絵画のうち、入選作品約40点(予定)を展示します。 【URL】http://www.nhdm.jp/ 						

19	くにたち郷土文化館 国立の歴史、ハケの自然などを展示。すぐ近くには古民家も。					
	開館時間	9:00～17:00 (入館は16:30まで)	休館日	第2・4木曜日(祝日の場合は翌日)、 12.28～1.3	入館料	無料
<ul style="list-style-type: none"> ● 秋季企画展「石を彫る くにたちの彫刻家 關敏(せきびん)の仕事」(10.4～11.13) 国立生まれの石の彫刻家・關敏氏の石彫作品を、氏の幅広い仕事と併せて紹介します。同時開催コーナー展示では、国立市所蔵の美術作品等を中心に紹介します。 ● 民具案内関連企画展「むかしのくらし展」(1.10～3.12) 明治から昭和にかけての、時代と共に変化してきた生活の道具を展示します。コーナー展示では、開館30周年にあたり開館当初の様子を紹介します。 ● 季節の飾り付け「ひな人形飾り」(2.14～3.9) 郷土文化館と国立市古民家に、七段飾りのひな人形を展示します。 【URL】https://www.kuzaidan.or.jp/province/ 						

20	たましん歴史・美術館 多摩地域の作家の作品展示や、地域の歴史資料を公開。					
	開館時間	10:00～18:00 (入館は17:30まで)	休館日	月曜日、祝日、年末年始(12.28～1.4)	入館料	100円 ※中学生以下無料
<p>たましん歴史・美術館(国立)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「コレクションでめぐる 季節のかたみ展」(～11.10)たましんコレクションの作品を、季節の表現を軸として紹介します。 ※11月12日(火)より、たましん歴史美術館(6階)はリニューアル工事に伴い休館します。なお、歴史資料室(5階)も休室となるためご利用いただけません。 <p>たましん美術館(立川) 入館料 一般500円他</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「没後20年 佐藤多持展」(前期展:2024.9.28～11.4/後期展:11.16～12.22) ● 「源氏物語の新世界—明け暮れ書き読みとなみおはす—」展(2025.1.11～3.16) ※展示内容、会期は変更となる場合があります。詳細はHPでご確認ください。【URL】https://www.tamashinmuseum.org/ 						

21	パルテノン多摩					
	地域まるごと博物館のコアとして多摩市と多摩ニュータウンを自然と歴史の視点で紐解く。					
開館時間	10:00～17:30	休館日	館の休館日に準ずる(月2,3日と年末年始)	入館料	常設展は無料	☎ 042-375-1414
<ul style="list-style-type: none"> ● 企画展「鉄道が街にやって来た～多摩ニュータウン鉄道開通50周年～」(～11.10) ● 企画展(多摩市教育委員会&パルテノン多摩連携展示)「多摩市百草・恋路稲荷神社の秘密(仮)」(11.13～2025.5(予定)) 多摩市百草にある恋路稲荷神社の移転にともない寄贈された資料からは、恋路稲荷神社が、18世紀には黄檗宗寺院・資福院、19世紀には修験・満蔵院などかかわりがあったことがわかりました。神社の建っていた稲荷塚古墳の発掘関連資料なども紹介しながら、恋路稲荷神社に伝来した資料とその背景を探ります。 ● 廻廊展示「多摩ニュータウンで活躍した鉄道写真展」(開催中～2023.12月予定) ● 古文書から歴史を読む【多摩地域編】※オンライン受講枠あり(2025年1月～2月を予定) 講師:岩橋清美氏(募集期間12月中) ● 特別講演(2025年2月を予定)講師:堂園いくみ氏(東京学芸大学准教授。募集期間1月頃)植物研究の最先端の話を、一般の方にも分かるようにお話しいたします。今回は、花とその花粉を運ぶ昆虫との関わりから生まれる進化などについてお話しいただく予定です。 【URL】https://www.parthenon.or.jp/ 【X(旧Twitter)&Instagram ID】@par_tama_museum 【Facebook】https://www.facebook.com/25thparthenon 						

22	東京都立埋蔵文化財調査センター					
	多摩丘陵の埋蔵文化財を展示。遺跡庭園「縄文の村」を併設。東京都埋蔵文化財センターが管理運営。					
開館時間	9:30～17:00 (11～2月は遺跡庭園のみ16:30まで)	休館日	全館：11/30※、12.29～1.3 展示ホールのみ：10.25・11.25・2.3・3.10～19 (※は天候により後日に変更の可能性あり)	入館料	無料	☎ 042-373-5296
<ul style="list-style-type: none"> ●企画展示「多摩の“なんで!?”な出土品」(～2025.3.9) ●年中行事 学芸員ギャラリートーク「大昔の多摩を語る」③(11.23)、叩いて糸作り(11.26)、遺跡庭園解説会(12.7)、企画展示解説会③(12.14)、調査研究員講演会①(12.14)、企画展示解説会④(1.18)、調査研究員講演会②(1.18)、映像上映会②(2.1)、企画展示解説会⑤(2.8)、調査研究員講演会③(2.8)、遺跡発掘調査発表会2024(3.20)、企画展示解説会⑥(3.22) ※申込方法、締切など詳細はホームページをご覧ください。 【URL】 https://www.tomaibun.jp 【X(旧Twitter)】 https://twitter.com/tokyo_maibun						

23	町田市立自由民権資料館					
	多摩地域・武相地域の自由民権運動と町田の歴史を紹介。					
開館時間	9:00～16:30	休館日	月曜日(祝日の場合は翌日)	入館料	無料	☎ 042-734-4508
<ul style="list-style-type: none"> ●企画展「回せ!地域経済—江戸・明治の町田の金融史—」(10.12～12.8) 「経済を回す」というキーワードを入口に、江戸・明治時代の市域の経済の歴史について、金融と税の側面からご紹介します。 ≪関連イベント≫ ①講演会(「まち歴」講座、全3回)日時や申込方法等詳細は、町田市ホームページからご確認ください。 ②ギャラリートーク(展示解説)(全6回) 10月12日・26日、11月3日・9日・30日、12月7日 全日：午後2時～午後3時、会場：自由民権資料館展示室1 【URL】 https://www.city.machida.tokyo.jp/smph/bunka/bunka_geijutsu/cul/cul03/index.html 【X(旧Twitter)】 https://twitter.com/machida_minken						

24	町田市民文学館ことばらんど					
	「文学」「ことば」「文字」の魅力や楽しさを展覧会や講演会を通して紹介					
開館時間	10:00～17:00	休館日	月曜日(祝日の場合は開館)、毎月第2木曜日(祝日の場合は開館し、その翌日以降の平日が休館)、年末年始(12.29～1.4)	入館料	無料(秋の企画展は有料)	☎ 042-739-3420
<ul style="list-style-type: none"> ●「没後1周年 森村誠一展—小説(ミステリ)を生きた男の肖像」(2024.10.19～12.22) 【観覧料有料：一般600円/大・高校生300円】町田市名誉市民で、昨年90歳で永眠された作家・森村誠一氏の展覧会。作家として歩んだ半世紀に及ぶ足跡を、彼の遺した作品を通じて辿ります。多彩な関連イベントにもご注目下さい。 <ul style="list-style-type: none"> ●「落語展(仮)」(2025.1.18～3.23) 雲田はるこ氏の「昭和元禄落語心中」を入口に、これまで落語には接してこなかった方々に噺家の世界や“名作落語”の魅力をご紹介します展覧会。落語についての基礎的な知識はもちろん、その魅力を引き出すための道具たち、「芝浜」や「死神」などの“名作落語”の巧みさ、面白さを展示を通してお伝えします。 【URL】 https://www.city.machida.tokyo.jp/smph/bunka/bunka_geijutsu/cul/cul08Literature/index.html 【X(旧Twitter)】 https://twitter.com/machida_kotoba						

25	府中市郷土の森博物館					
	府中市の歴史・民俗・自然。プラネタリウム、古民家も。					
開館時間	9:00～17:00 (入場は16:00まで)	休館日	11月：4を除く月曜、5 12月：月・火曜、29～31 1月：1～3,13を除く月曜、14 3月：3を除く月曜、11	入館料	大人300円、中学生以下150円、4歳未満無料	☎ 042-368-7921 (プラネタリウムは別料金)
<ul style="list-style-type: none"> ●特別展「武蔵府中のケヤキ並木」(12.7～1.13) 国天然記念物指定100周年を迎える「馬場大門ケヤキ並木」について紹介。 ●特別展「古代たまの寺とみほとけ」(1.25～3.9) 古代武蔵国多磨郡での仏教受容の様子を、考古資料を中心に探る。 ●企画展「ちょっとむかしのくらし その6」(12.14～3.16) ちょっとむかしには普通に使われていた生活道具から、くらしの移りかわりをたどる。 ●復元建物展示「カイコとくらししたむかしの農家」(～3.30) 園内・旧河内家住宅を会場に、カイコとくらしした当時の様子を紹介。 ●プラネタリウム秋番組(～12.1) 生解説プラネタリウム「土星のわっ!」ほか。 ●プラネタリウム冬番組(12.4～2025.3.9) 生解説プラネタリウム「神話たっぷりうむ～ゼウス光臨～」ほか。 ●講座「大人のための星空入門」 ①「2025年オススメの天体ショー」(1.18)、②「過去70年に起きたビッグな宇宙イベント」(2.9) ●梅まつり(2.1～3.9) 美しい花と優しい香りに園内が包まれます。梅園ライトアップも実施予定。 【URL】 http://www.fuchu-cpf.or.jp/museum/index.html 【X(旧Twitter)】 https://twitter.com/kyodo_no_mori						

26	小平市鈴木遺跡資料館					
	日本を代表する旧石器時代遺跡である国史跡「鈴木遺跡」から出土した貴重な旧石器を展示・公開しています。					
開館時間	10:00～16:00	休館日	月・火・木・金曜日、 年末年始（12.27～1.5）	入館料	無料	☎ 042-323-2233
<p>●常設展示 国史跡「鈴木遺跡」は、都内最大規模の旧石器時代遺跡です。出土した旧石器の分析の結果、約2万2千年間にも及ぶ日本の後期旧石器時代初めから終末まで12の文化層の石器群が存在することが判明し、日本旧石器時代の移り変わりを明らかにしたことで名高い遺跡です。常設展示では、各時期ごとの石器群を古い方から年代順に展示しています。また、数多く出土した黒曜石も時期と産地ごとに一目でわかるように分類して展示しています。</p> <p>●鈴木遺跡発掘50年記念企画展 鈴木遺跡の発掘調査（11.13～2025.2.2） 鈴木遺跡は発掘調査が行われるようになってから50年が経過しました。50年前の発掘調査の様子を中心に、パネル展示にて紹介いたします。</p> <p>【URL】 https://www.city.kodaira.tokyo.jp/kurashi/001/001374.html</p>						

27	小金井市文化財センター 小説『次郎物語』の舞台で、小金井の歴史と文化をたどる。					
	当館は作家下村湖人が青年団講習所の所長として講習生と語り、小説『次郎物語』の構想を練った浴恩館を改修して資料館としたものです。					
開館時間	9:00～16:30	休館日	月曜日（祝日の場合は翌日）、臨時休館期間（10月）、年末年始（12.29～1.3）	入館料	無料	☎ 042-383-1198
<p>●名勝小金井（サクラ）名勝指定100周年記念事業（～2025.4）</p> <p>●企画展「小金井桜と武蔵小金井駅」（～12.28） 玉川上水堤の桜並木「名勝小金井（サクラ）」とJR武蔵小金井駅の歴史を錦絵や古写真で紹介</p> <p>●地域史講座「文人の小金井、武蔵野」（11.9、16、23）</p> <p>●武蔵小金井駅連携事業「仮乗降場100周年・小金井桜100周年」東小金井駅連携事業</p> <p>【URL】 https://www.city.koganei.lg.jp/kankobunka/bunkazai/bunkazaisenta.html</p>						

28	江戸東京たてもの園					
	都内の歴史的建造物を移築、復元・保存・展示し、文化遺産として次代に継承することを目指した野外博物館。					
開園時間	4～9月：9:30～17:30 10～3月：9:30～16:30 （入園は開園の30分前まで）	休園日	月曜日（祝日の場合は翌平日） ※2025.3.24は臨時開園 年末年始（12.25～2025.1.1）	入園料	大人400円、中（都外） 高生200円、大学生320円、65才以上の方200円、小中（都内）無料	☎ 042-388-3300
<p>●展示室 「特別展 武蔵野の歴史と民俗～「武蔵野郷土館」がのこしたモノたち～」（～12.15） 「特別展 江戸東京博物館コレクション展～江戸東京のくらしと食べ物～」（2025.3.20～6.15）</p> <p>●秋冬の催し 「夜間特別開園 紅葉とたてもののライトアップ」（11.23・24）、「たてもの園でお正月」（2025.1.2・3）、「成人の日はたてもの園へ」（2025.1.13）、「たてもの園フェスティバル」（2025.3.27・28） 「綱島家年中行事」大根干し（11月最終週～12月下旬）、小正月繭玉飾り（2025.1.14～1.19）、節分（2025.2.2）</p> <p>●定例の催し ミュージアムトーク（11.23、12.21、2025.1.25、2.22、3.22） 伝統工芸の実演（11.9・10 北区／12.14・15 荒川区／2025.1.11・12 大田区／2.8・9 中野区／3.8・9 品川区）</p> <p>※ご来園の際は、ホームページ等で最新の情報をご確認ください。 【URL】 https://www.tatemonoen.jp/</p>						

29	東京農工大学科学博物館					
	繊維に関する資料の展示や、本学の教育研究活動を紹介。繊維技術研究会や友の会による活動も盛ん。					
開館時間	10:00～17:00（入館は16:00まで）	休館日	日・月曜日、祝日、5.31（創立記念日）、8月中旬、年末年始等（12.28～1.3）	入館料	無料	☎ 042-388-7163
<p>●企画展予告「女子蚕業教育展」時期：2024年11月17日（日）～2025年6月末日（予定） 東京農工大学に収蔵される東京蚕業講習所・東京高等蚕糸学校学術資料のうち製糸教婦科関連資料から、同校で行われた女性向け蚕糸業高等教育の実態がどのようなものであったのかをご紹介します。</p> <p>●友の会作品展（2月予定） 第41回サークル作品展を行います。絹・藍染・織物・型絵染・手紡ぎ・組ひも・ボビンレース・わら工芸・ひも結び・紬瑠（つる）かご、全10サークルの作品を展示致します。</p> <p>※都合により休館日に変更される可能性があります。詳細はホームページ、Twitterでご確認ください。</p> <p>【URL】 http://www.tuat-museum.org/</p>						

30	清瀬市郷土博物館 清瀬の歴史と民俗。伝承スタジオでは体験学習も。					
開館時間	9:00～17:00	休館日	月曜日(祝日の場合は翌日) 12.29～1.3	入館料	無料	☎ 042-493-8585
<ul style="list-style-type: none"> ●特別展 「堤勝雄写真展(仮称)」(2.1～2.29) 特別展関連イベント 記念講演会(2.15) ●企画展 「第39回清瀬美術家展」(11.12～11.24) ●テーマ展示 「きよせ養蚕録 お蚕さまの紡いだ物語」(10.1～2025.1.31) テーマ展示関連講座(12.7) ●年中行事 まゆ玉飾り(1.11) 節分の豆まきとやっかがし(2.1) ●事業 しめ縄作り講習会(12.15) ミュージアムシアター(2.16/3.16) ●先人の知恵に学ぶシリーズ 藍染教室(3.8) <p>ほか、歴史講座や文化財散歩など随時開催中。詳細は清瀬市郷土博物館HPへ。【URL】http://www.museum-kiyose.jp/</p>						

31	多摩六都科学館 世界最大級のプラネタリウムドームと5つの展示室がある参加体験型の科学館。					
開館時間	9:30～17:00(入館は16:00まで)	休館日	月曜日(祝日の場合は翌日)、祝日の翌日、年末年始(12.28～1.3)、その他機器整備の休館あり(2024.10.8～10)	入館料	大人520円、小人(4歳～高校生)210円 ※年間パスあり ※プラネタリウム、大型映像は別料金	☎ 042-469-6100
<ul style="list-style-type: none"> ●冬の特別イベント「ロクトロボットパーク2024」(12.25～2025.1.13) ロボットを自分で正しく動かしたり、説明書を見ながらじっくり工作したり、たくさんのロボットとふれあって、キミもロボットの達人をめざそう！子供から大人まで楽しめるドローン操縦体験にも注目！ ●大人向けプラネタリウム(11.24、27、12.18、2025.1.26、29、2.26、3.16、19) 科学的なテーマのほか、ブウ化やアートなど多彩な視点で星空を語る、ちょっと特別なプログラムです。投影テーマは毎月変わります(対象は中学生以上)。 <p>【URL】https://www.tamarokuto.or.jp</p>						

32	調布市郷土博物館 原始古代から現代までの調布の歴史をたどる。					
開館時間	9:00～16:00	休館日	月曜日(祝日の場合は翌平日)、12.29～1.3、館内燻蒸期間	入館料	無料	☎ 042-481-7656
<p>【調布市郷土博物館は令和6年11月24日(日)で開館50周年を迎えます】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●令和6年11月19日(火)から常設展示室が新しくなります。 常設展示室をより分かりやすく更新します。ぜひご覧ください。※11月17日までは休室です。 ●常設展示見どころ紹介(①11.23、②11.24)ともに午後1時から1時30分まで 新しくなった常設展示室の見どころを紹介します。当日直接展示室にお集まりください。 ●天然理心流演武(11.23)午後2時45分～3時まで(荒天中止)調布市郷土博物館前庭にて 演武披露：天然理心流勇武館道場、申込は直接会場にて ●特別公開「近藤勇養子縁組状」「週刊多摩新聞」(11.19～12.15) 開館50周年を記念して「近藤勇養子縁組状」と「週刊多摩新聞」の実物を展示します。資料保存のため、期間終了後はレプリカでの展示となります。この機会にぜひ実物をご覧ください。 <p>【URL】https://www.city.chofu.tokyo.jp/www/contents/1176118850606/【X(旧Twitter)】https://x.com/chofu_museum</p>						

33	国際基督教大学博物館湯浅八郎記念館 初代学長・湯浅八郎の民藝コレクションと、キャンパスから出土した考古資料を所蔵する大学博物館。					
開館時間	13:00～17:00(9/10～11/14と1/7～3/6の毎週火曜・水曜・木曜)	休館日	9/10～11/14と1/7～3/6の毎週火曜・水曜・木曜以外は休館(11/15～1/6と3/7～4/7は展示替え及び年末年始休暇のため休館)	入館料	無料	☎ 0422-33-3340
<ul style="list-style-type: none"> ●特別展「野川中流域の旧石器時代—ホモサピエンス 氷期の暮らし」(～11.14) 毎週火曜/水曜/木曜日 13:00～17:00 ●特別展「(仮)錦絵にみる文明開化と明治日本」(1.7～3.6) 毎週火曜/水曜/木曜日 13:00～17:00 ●ランチタイムトーク「私とICU」(11.5) 本学教授陣をゲストスピーカーに迎え、往時の思い出を聞く第10弾。Zoomミーティングにて開催。 ●第123回公開講座(1月中の土曜日) 演題・講演者未定。Zoomウェビナーにて開催(視聴無料・要予約)。 <p>【URL】https://subsites.icu.ac.jp/yuasa_museum/【X(旧Twitter)】https://twitter.com/ICU_museum 【YouTube】https://www.youtube.com/channel/UCg4-j0CyCngzMGkfHbKdJg/【Instagram】https://www.instagram.com/icu_yuasa_museum/</p>						

34 武蔵野市立武蔵野ふるさと歴史館
武蔵野市の歴史と文化を育む、「博物館」と「公文書館」の機能を持った施設です。

開館時間	9:30～17:00	休館日	金曜日、祝日、年末年始	入館料	無料	☎	0422-53-1811
------	------------	-----	-------------	-----	----	---	--------------

●企画展 学校教育連携展示「武蔵野のくらしを探る－小学生の一日 今昔－」(12.14～4.17)
小学生の生活は昭和・平成・令和でどのように変わってきたのかを学校や家での一日を通して探ります。

●特集展示 歴史館大学成果展示①「文書から見る女性の活躍－安積政子関係文書－」(12.14～4.10)
通年の市民向け講座「歴史館大学」の受講生と共に実施した史料整理の成果展示です。

●「ポスター・フライヤーから見る武蔵野ふるさと歴史館10年間のあゆみ」開館10周年記念ポスター展(12.14～3.31)
開館10周年を記念し、当館の10年の歩みをポスターやフライヤーを通して振り返ります。

※常設展示室等リニューアル改修工事にとまない、令和6年11月1日から12月13日まで休館し、令和6年12月14日から通常どおり開館いたします。【URL】http://www.city.musashino.lg.jp/kurashi_guide/shogaigakushu_koza/rekishikan/

35 日本獣医生命科学大学付属博物館
本学の歴史に関する資料や、日本の里山で暮らす野生動物に関する資料を展示。

開館時間	10:30～17:00(入館・物販は16:30まで)	休館日	日・月曜日、祝日、年末年始、大学の定める休日(告知ない変更・臨時休館あり)	入館料	無料	☎	0422-31-4151
------	----------------------------	-----	---------------------------------------	-----	----	---	--------------

●常設展示 歴史系展示室では大学史の紹介を、自然系展示室では野生動物の剥製や骨格標本の展示を行っています。

●特別展示「NVLU 奄美プロジェクト－研究・保全・そして未来－」(11.01～(予定))
奄美大島に生息する野生動物の保全のために取り組んだ研究の成果を、特に病理学・寄生虫学の側面から展示します。

●企画展「梅野信吉展(仮称)」(会期未定)
北里柴三郎博士のもとに従事し、本学との関わりも深い人物である「梅野信吉」に関連した企画展の開催を予定しています。

※開館日程は変更されることがあります。また見学には事前のご予約が必要です。詳細は大学公式HPをご覧ください
【URL】<https://www.nvlu.ac.jp/universityinstitution/004.html/>(大学公式サイト内博物館ページ)

36 狛江市立古民家園(愛称:むいから民家園)
文化財の古民家で、年中行事の展示や体験学習など、狛江の歴史や民俗を学べます。

開館時間	9:30～16:30	休館日	月曜日(休日にあたるときはその翌開園日)、年末年始(12.28～1.4)	入館料	無料	☎	03-3489-8981
------	------------	-----	--------------------------------------	-----	----	---	--------------

●年中行事展示 正月にはまゆ玉飾り、桃の節句にはひな人形の展示を予定しています。

●イベント・教室 地域の生活文化や伝統文化を体験する教室のほか、子ども向けの体験教室などを予定しています。
11月:かまどでご飯、民俗学講座 12月:正月花の生け花教室、民俗学講座 1月:親子工作教室(凧作り)、建築講座 2月:工作教室(鬼のお面作り)、建築講座 3月:ひな祭り、建築講座など ※詳細は、狛江市広報または狛江市教育委員会HPをご覧ください。
【URL】<http://www.komae.ed.jp/index.cfm/12.html>【X(旧Twitter)】@komae_muikara

37 東京都公文書館
東京府、東京市、東京都の公文書等を所蔵し、利用に供している自治体「東京都」の公文書館です。

開館時間	9:00～17:00(最終入館16:30)	休館日	日曜日、祝日、第三水曜日	入館料	無料	☎	042-313-8460
------	-----------------------	-----	--------------	-----	----	---	--------------

●常設展示 東京の歴史や行政区画の変遷を年表、資料展示(複製)、タッチパネル、床面投影にして分かりやすく、親しみやすく展示 ●常設展示室内 ミニ展示 2か月を目安に、当館所蔵資料を紹介するミニ展示。今回は、秋企画展の一部として東京府・東京市・東京都の沿革等を紹介いたします。●秋企画展「アーカイブって何だ ～東京都公文書館開館5周年記念展」(～12.17) 当館が国分寺市に移転して5年の節目を記念し、主要所蔵資料を系統的に展示するとともに、公文書館が行う仕事の実際についても紹介します。
【URL】<https://www.soumu.metro.tokyo.lg.jp/01soumu/archives/>

38 中央大学大学史資料館 本学140年の歴史や関係者の事蹟を広く伝える資料館です。

開館時間	10:00-17:00(入館16:30まで)	休館日	日曜・祝日 夏季・冬季休暇および大学の定める休日(その他臨時休館日)	入館料	無料	☎	042-674-2132
------	------------------------	-----	---------------------------------------	-----	----	---	--------------

●常設展示 中央大学140年の歴史を全5章にわたって展示紹介します。

●企画展示「中大とスポーツ 過去・現在・未来」本学が輩出したオリンピック・パラリンピアンへの活躍や箱根駅伝における陸上競技部の活躍を中心に、中大スポーツの軌跡を紹介します。
第1部:中大オリンピック・パラリンピアンへの活躍(～12.14)・第2部:中大スポーツと箱根駅伝(12.14～2025.4.19)
【URL】<https://www.chuo-u.ac.jp/aboutus/efforts/museum/history/>

三多摩公立博物館協議会加盟館アクセス一覧

No.	館名	アクセス
1	奥多摩水と緑のふれあい館	JR 青梅線「奥多摩駅」から小河内方面行きバス「奥多摩湖」下車
2	檜原村郷土資料館	JR 五日市線「武蔵五日市駅」から藤倉行きバス「郷土資料館」下車
3	青梅市郷土博物館	JR 青梅線「青梅駅」下車徒歩 15 分
4	あきる野市五日市郷土館	JR 五日市線「武蔵五日市駅」下車徒歩 17 分
5	羽村市郷土博物館	① JR 青梅線「羽村駅」西口から徒歩 20 分 ② JR 青梅線「羽村駅」東口からコミュニティバスはむらん羽村西コース「郷土博物館」下車
6	コニカミノルタ サイエンスドーム	JR 中央線「八王子駅」、または京王線「京王八王子駅」からバス「サイエンスドーム」下車、徒歩 2 分
7	桑都日本遺産センター 八王子博物館	① JR 中央線「八王子駅」南口から駅直結 ②京王線「京王八王子駅」から徒歩 8 分
8	福生市郷土資料室	福生市郷土資料室：JR 青梅線「牛浜駅」から徒歩約 7 分 福生市役所・旧ヤマジユウ田村家住宅：JR 青梅線「福生駅」から徒歩約 7 分
9	瑞穂町郷土資料館（けやき館）	JR 八高線「箱根ヶ崎駅」下車徒歩 20 分
10	武蔵村山市立歴史民俗資料館・分館	多摩モノレール「上台北駅」から武蔵村山市内循環バス「かたくりの湯」下車徒歩 1 分 分館：西武拝島線・多摩モノレール「玉川上水駅」から武蔵村山市内循環バス「大南三丁目」下車徒歩 3 分
11	立川市歴史民俗資料館	① JR 中央線「立川駅」南口から新道福島行き・富士見町操車場行きバス「団地西」下車、徒歩 5 分 ② JR 中央線「立川駅」南口から立川駅北口行きバス「農業試験場前」下車、徒歩 5 分（土日祝日は運休） ③ JR 青梅線「西立川駅」下車徒歩 20 分
12	日野市郷土資料館	①多摩モノレール・京王線「高幡不動駅」から百草団地方面バス「高幡台団地」下車徒歩 5 分 ②多摩モノレール「程久保」下車徒歩 7 分
13	日野市立新選組のふるさと歴史館	① JR 中央線「日野駅」から京王バス高幡不動駅行き「日野七小入口」下車徒歩 5 分 ②京王線・多摩都市モノレール「高幡不動駅」から京王バス日野駅行き「日野七小入口」下車徒歩 5 分
14	東京都立大学 91 年館	京王相模原線「南大沢駅」下車徒歩約 5 分
15	帝京大学総合博物館	①多摩モノレール「大塚・帝京大学駅」下車徒歩 15 分 ②京王線「聖蹟桜ヶ丘駅」、「高幡不動駅」、「多摩センター駅」から京王バス「帝京大学構内」行きに乗車し終点にて下車
16	東大和市立郷土博物館	西武拝島線「東大和市駅」から西武バス「イオンモール」行きで「八幡神社」、または都営バス「青梅車庫」行きで「八幡神社前」下車徒歩 2 分
17	東村山ふるさと歴史館	東村山ふるさと歴史館：西武鉄道新宿・国分寺・西武園線「東村山駅」西口下車徒歩 8 分 八国山たいけんの里：西武鉄道西武園線「西武園駅」下車徒歩 10 分
18	国立ハンセン病資料館	①西武池袋線「清瀬駅」南口から西武バス「久米川駅北口行」で約 10 分 ②西武新宿線「久米川駅」北口から西武バス「清瀬駅南口行」で約 20 分（いずれも「ハンセン病資料館」で下車）
19	くにたち郷土文化館	JR 南武線「矢川駅」下車徒歩 10 分、JR 中央線「国立」駅からバス「国立操車場」行または「国立泉団地」行、「くにたち郷土文化館」下車すぐ
20	たましん歴史・美術館	たましん歴史・美術館：JR 中央線「国立駅」南口前/たましん美術館：JR 中央線「立川駅」北口より徒歩約 6 分
21	パルテノン多摩ミュージアム	京王相模原線・小田急多摩線・多摩モノレール「多摩センター駅」下車徒歩 5 分
22	東京都立埋蔵文化財調査センター	京王相模原線・小田急多摩線・多摩モノレール「多摩センター駅」下車徒歩 5～7 分
23	町田市立自由民権資料館	①小田急線「鶴川駅」5 番バス乗り場から「野津田車庫」行きまたは本町田經由「町田駅」行きで「綾部入口」下車②小田急線・JR 横浜線「町田駅」21 番バス乗り場から本町田經由「野津田車庫」行きまたは「鶴川駅」行きで「袋橋」下車
24	町田市民文学館ことばらんど	①小田急線「町田駅」東口から徒歩 12 分 ② JR 横浜線「町田駅」ターミナル口から徒歩 8 分
25	府中市郷土の森博物館	京王線・JR 南武線「分倍原駅」から京王バス「郷土の森総合体育館」行き、「郷土の森正門前」下車すぐ
26	小平市鈴木遺跡資料館	①西武新宿線「小平駅」南口から西武バス武蔵小金井駅行き、もしくは JR 中央線「武蔵小金井駅」から西武バス小平駅南口行き「回本通り」下車徒歩 5 分 ②西武新宿線「花小金井駅」から立川バス「国分寺駅北口」行き「共済住宅」下車徒歩 10 分
27	小金井市文化財センター	JR 中央線「武蔵小金井駅」北口もしくは「東小金井駅」からココバス北東部循環③「小金井公園入口」下車徒歩 5 分
28	江戸東京たてもの園	① JR 中央線「武蔵小金井駅」北口バス 2 番 3 番乗り場から西武バス「小金井公園西口」下車徒歩 5 分②西武新宿線「花小金井駅」南口より徒歩 5 分「南花小金井」（小金井街道沿い）停留所から「武蔵小金井駅」行き西武バス、「小金井公園西口」下車徒歩 5 分
29	東京農工大学科学博物館	JR 中央線「東小金井駅」nonowa 口より徒歩 7 分
30	清瀬市郷土博物館	①西武池袋線「清瀬駅」北口から徒歩 10 分 ②西武池袋線「清瀬駅」北口バス乗り場 1 番から西武バス「郷土博物館入口」下車徒歩 1 分
31	多摩六都科学館	①西武新宿線「花小金井駅」北口から徒歩 18 分 ②西武新宿線「花小金井駅」、「田無駅」からはなバス第 4 北ルート「多摩六都科学館」下車すぐ
32	調布市郷土博物館	京王相模原線「京王多摩川駅」下車徒歩 4 分
33	国際基督教大学博物館湯浅八郎記念館	① JR 中央線「三鷹駅」南口または「武蔵境駅」南口から小田急バス「国際基督教大学」行きにて終点下車 ②武蔵境駅からタクシーで 10 分
34	武蔵野市立武蔵野ふるさと歴史館	① JR 中央線・西武多摩川線「武蔵境駅」から徒歩 12 分 ② JR 中央線「武蔵境駅」北口からムーバス境西循環に乗車し、4 番「武蔵野ふるさと歴史館」下車すぐ
35	日本獣医生命科学大学付属博物館	JR 中央線・西武多摩川線「武蔵境駅」南口から徒歩 2 分
36	狛江市立古民家園（愛称：むいから民家園）	①小田急線「狛江駅」、「和泉多摩川駅」から徒歩 10 分 ②小田急線「狛江駅」北口から「多摩川住宅」行きバスまたは「こまバス」（北回り）で「児童公園」バス停前
37	東京都公文書館	① JR 中央線・武蔵野線「西国分寺駅」から徒歩 8 分 ②京王バス（寺 85 系統）「いずみプラザ前」から徒歩 4 分 ③ぶんバス（万葉・けやきルート、北町ルート、日吉町ルート）「西国分寺駅東」から徒歩 5 分
38	中央大学大学史資料館	多摩モノレール「中央大学・明星大学駅」から徒歩 10 分